

07号

2014年
12月15日

新小山市民病院だより

目次

理事長挨拶 01

ドクター紹介 02

決算報告 03

医療技術部門紹介 04

より市民の皆様に身近な病院を目指して

地方独立行政法人新小山市民病院が発足して2年目の下半期に入りました。昨年よりも、新市民病院の入院患者さんの数はさらに増えているのですが、1人1人の入院日数が大幅に短縮したために、空きの病床が目立つようになったことも事実です。このような現象は、本院が今年から採用したDPC（入院料を出来高で計算するのではなく病気毎に一定の診療報酬額が丸めで決まる制度）を導入したことによるもので、急性期病院では通常経験されることです。このことはとりもなおさず、より多くの患者さんが新市民病院に入院して頂けることとなります。今後益々市民の皆様に選ばれる病院となれるよう、これからも努力を続けて参りたいと思います。

さて9月には、秋葉原で自治医大主催の地域医療フォーラムが開催され、全国各地において住民が病院と一緒に地域医療を支えようとする様々な取り組みが紹介されました。その中で、新小山市民病院を中心として大学、医師会、行政、市民が「地域医療を守り育てよう」と展開している小山市の様々な取り組みが紹介され、「小山モデル」として全国の注目を集めました。

そして10月には、今や恒例となった「新市民病院ふれあい祭り」が開催され、昨年同様生憎の雨模様でしたが、若い方からお年寄りまで大勢の市民の皆様にご参加頂き、着実に新市民病院が今まで以上に皆様に近い存在になりつつあることを実感しました。

先の地域医療フォーラムでも話し合われましたが、「かかりつけ医」、新市民病院、他医療機関が緊密に連携しながら、この地域ネットワークで医療を完結していくことが重要であり、その使命を果たすことで新市民病院が市民に身近な存在となります。今後とも、お互いに顔のみえる関係をこれからも築いていきたいと思ひます。

来年秋の完工を目指して、新病院の建築も順調に進んでおります。現在の病院のロビーには、緑豊かな地に建つ新病院の完成イメージの模型が展示されており、来院された方々が、期待を込めたまなざしでそれをご覧になっています。その様子を見るにつけ、我々の期待も益々膨らんでいくのです。

平成26年12月

新小山市民病院 理事長・病院長 島田和幸

TOPICS

禁煙外来・もの忘れ外来開始のお知らせ

呼吸器内科医師による「禁煙外来」と、神経内科医師による「もの忘れ外来」を開始しました。どうぞお気軽にご相談ください。

禁煙外来

現在、健康保険等を使って禁煙治療が受けられるようになりました。タバコをやめられないのは、意志の弱さではなく、ニコチンのもつ強い依存性が原因です。このような喫煙習慣は「ニコチン依存症」といわれ、治療が必要な病気にされています。

病気は意志の力だけで治せるものではありません。禁煙成功のために、「禁煙外来」を始めませんか。

第1・3・5 木曜日 午前中
(要予約 ☎ 21-3832)

もの忘れ外来

もの忘れには、正常加齢によるものと、病的認知症の初期段階とがあり、早期診断が重要となってきます。ちょっとしたもの忘れが病的認知症によるものかどうかを診断し、必要であれば治療を行います。

現在かかりつけの医師とご相談の上、かかりつけ医を通しての予約をお取り下さいますようお願い致します。

毎週水曜日 午前中
(要予約 ☎ 21-3871)

医師・
看護職員を
募集しています。

私たちと一緒に
働きませんか

当院では、医師・看護職員を募集しております。

① 医師募集

地域に根差した病院をめざし“病院力”を高めるため、当院では新病院に向けて、只今積極的に医師の採用を進めております。

地域医療に興味のある方、そろそろ地元に戻ろうとお考えの方はぜひ一度お問い合わせください。

② 看護職員

平成26年度第4回採用試験
試験日：平成27年2月20日(金)
対象者：助産師、看護師
応募期間：平成26年12月1日(月)～
平成27年2月7日(金)

③ 薬剤師・ 診療情報管理士 (正職員)

④ 看護師・診療放射線技師・ 言語聴覚士(臨時職員) 随時募集しています。

※各職、詳細につきましては
下記までお問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

総務課 人事厚生係
☎21-3886

地方独立行政法人
新小山市民病院 

〒323-0028
栃木県小山市若木町1-1-5

☎0285-21-3800 (代表)

↑ <http://www.hospital-oyama.jp>

↑ <https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital>

第3回 新小山市民病院ふれあい祭り が開催されました。

平成26年10月5日(日)に、第3回新小山市民病院ふれあい祭りが開催されました。
 今年も台風18号が接近するあいにくの天気でしたが、多くの皆様にご来場頂き、盛況のうちに終了することが出来ました。たくさんのご参加ありがとうございました。
 今後も当院を知って頂く機会を充実させていきたいと考えております。
 これからもよろしくお願い致します。

ミニ講演会では、各回30分という短い講演だったにも関わらず、多くの皆様にご来場頂きました。ありがとうございました。



雨のなか「開運★おやまくま」も駆けつけ、会場を盛り上げてくれました。



オープニングセレモニーでは、旭小学校ハンドベルの皆さんのすばらしい演奏を聞かせてもらいました。



★ミニ講演会



★手洗い体験



各種相談・体験コーナーでは、スタッフによる各種相談や、普段体験できない医療機器の操作などを実際に行ったり、手洗い体験や栄養に関するクイズなど多くの皆様にご参加いただきました。

★栄養コーナー



★エコー操作体験



お昼にはおやまだいすキッズの皆さんのダンスで盛り上がり、エンディングでは栃木ジュニアオーケストラの皆さんの演奏で幕を閉じました。

ドクター紹介

10月以降採用の5名の新しい医師をご紹介します。



腎臓内科
副部長
今井 利美

心臓血管外科
部長
上西 祐一郎

小児科
医員
齊藤 洋

外科
医員
直井 大志



外科
医員
安部 望

平成27年1月より、婦人科外来におきましては、非常勤医師による週2回(火曜日、木曜日)のみの診療となります。
 初診は紹介状制、再診は予約制の形をとらせていただきます。ご不便をおかけしますが宜しくお願い致します。
 外来受付電話21-3844
 (火曜日、木曜日のみ受付)



平成25年度 決算状況

(単位:円)

区分	平成25年度		平成24年度		比較増減
	金額	構成比	金額	構成比	
病院事業収益	5,754,504,760	100.0	5,537,305,634	100.0	217,199,126
1 医業収益	5,624,066,902	97.7%	4,880,550,639	88.1%	743,516,263
(1)入院収益	3,505,307,068	60.9%	3,090,158,261	55.8%	415,148,807
(2)外来収益	1,574,447,999	27.4%	1,461,521,383	26.4%	112,926,616
(3)その他医業収益	544,311,835	9.5%	328,870,995	5.9%	215,440,840
2 医業外収益	117,697,858	2.0%	656,754,995	11.9%	▲539,057,137
3 特別利益	12,740,000	0.2%	0	0.0%	12,740,000
病院事業費用	5,556,979,440	100.0%	5,491,479,148	100.0%	65,500,292
1 医業費用	5,392,377,078	97.0%	5,354,185,461	97.5%	38,191,617
2 医業外費用	127,037,353	2.3%	129,243,543	2.4%	▲2,206,190
3 特別損失	37,565,009	0.7%	8,050,144	0.1%	29,514,865
当年度純利益	197,525,320		45,826,486		151,698,834

新小山市民病院は平成25年4月1日より市立病院から独立行政法人へと組織変更を行いました。平成25年度決算は組織変更後初めての決算であり、内容は左記の通りとなりました。地域の患者さんのご支援と当院スタッフ全員による経営改善努力が実り、前年度と比べ大幅な財務改善を図ることが出来ました。

当院は平成28年1月に市内神鳥谷への新築移転を控え、現在その準備を進めております。移転後も地域住民の皆様引き続き支持されるような病院となれるよう、様々なご意見・ご要望に耳を傾け、そのニーズにしっかりと応えられること、また、地域医療機関の先生方との連携をこれまで以上に強化したいと考えております。

『小山市民病院』から『新小山市民病院』への変革の集大成となる移転プロジェクトを必ずや成功させ、当院はその名に恥じぬ地域中核病院として皆様の支持を得られること、また『緑の健康づくりの森』が、快適且つ健康増進に寄与するエリアとなるためのお役に立てる総合医療機関となることを求められています。現在、地域医療支援病院の認定を目指している当院では、医師、看護師を始めとしたスタッフ全員が、地域の皆様に最適な医療を提供すべく、医療技術と接遇の向上等研鑽を重ねる日々を過ごしております。

今後共、更なる御支援を御願ひ申し上げます。



心臓ドック開始のお知らせ

平成27年1月から心臓ドックを開始いたします。当健診センターは、センター長の島田理事長の専門である血管のアンチエイジングを主に生活習慣病予防・動脈硬化予防・減塩指導などに積極的に取り組んでいます。

三大成人疾患の1つである心臓疾患は、日本人の死亡原因の第2位であり40代~50代のいわゆる「働きがりの人」の突然死は年々増加の傾向にあります。なかでも狭心症や心筋梗塞といった虚血性疾患は、何の前触れもなく突然発症し、「死」に至るリスクの高い疾患です。

心臓ドックでは、冠動脈CT検査で心臓の動きをとらえ、拍動する心臓と冠動脈をリアルタイムに断層撮影し、高精度3D画像により冠動脈の石灰化や狭窄をみる他、多種検査で総合的に身体の動脈硬化の程度を判定します。診断・結果説明は、大谷副院長を中心とした循環器内科専門医が担当します。心臓ドックで心臓疾患の早期発見と血管のリスクの判定後は、当院の循環器内科の二次受診へ移行でき、さらに詳しい検査(心臓カテーテル検査)や治療(経皮的冠動脈形成術)を受けて頂くことができます。

心臓ドックが受けられない方

- ・65歳以上の方
- ・20秒程度の息止めができない方
- ・既に心臓疾患の治療を受けている方(高血圧症を除く)
- ・不整脈のある方
- ・心臓の血管にステントが挿入されている方
- ・ニトロ製剤(血管拡張剤)が使用できない方
- ・腎臓の悪い方
- ・喘息の方
- ・糖尿病で内服治療・インスリン治療を受けている方
- ・妊娠・授乳期の方
- ・造影剤(ヨード)アレルギーの方

●心臓ドック検査日●

毎週火曜日(祝休日を除く)13時~

【料 金】 60,000円(税別・保険診療外)

【検査項目】 身体計測・血液学検査・生化学検査・尿検査・安静時心電図
・血圧脈波検査(PWV)・超音波内臓脂肪検査・頸動脈超音波検査
・心臓超音波検査・冠動脈CT検査(造影剤使用)

*お申込み・お問合せ

健診センター ☎21-3823

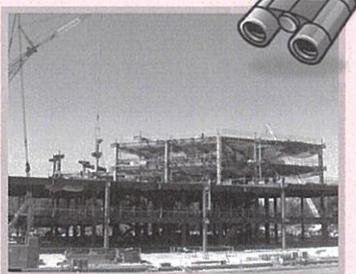
(祝日を除く 月曜日~金曜日13時~16時)



新病院 進捗状況

11月現在の新小山市市民病院建設事業の進捗状況は、病院本体工事では、9月下旬から開始した鉄骨工事を継続して施工しており、工事の進捗に併せて、各階の床躯体の施工も始まりました。又、病院北側に配置するエネルギーサービスセンター工事も、11月初旬から鉄骨工事が始まりました。

今後のスケジュールは、病院本体工事は、1月中旬に建物が上棟し、続けて内装、外装工事に入ります。エネルギーサービスセンター工事は、11月中旬に上棟し、続けて各階の床躯体工事及び外装工事に入りました。



このコーナーでは、医療技術部門の各部門の紹介を行います。

栄養管理室



こんにちは!栄養管理部門です!私たちの部署は、病院の栄養士・管理栄養士5名と給食委託業者日清医療食品スタッフ25名から構成されています。

主な業務は入院患者さんへの安心で安全な食事の提供、入院・外来での栄養指導、そして栄養管理です。食事は、治療の一環であり命をつなぐもので、患者さんにとっては入院中の楽しみの1つでもあります。病院食が楽しみになるようにと昨年度より検討を重ね開始した入院中にお誕生日を迎えられた患者さんへのささやかなプレゼント、手作りだしを使ったおいしい減塩料理、選択メニューの導入は当院の食事の特徴になったと考えています。栄養指導では患者様個々人の生活背景や食生活の内容を踏まえて、実行可能な方法を一緒に考え提案し、また受けたいような栄養指導を目指しています。

また他院にはない取り組みとして、当院健診センター人間ドック受診者全員に集団・個人栄養指導を実施し、生活習慣病の予防に務めています。栄養管理は、入院された患者さん全員の状態を把握し、多職種連携し栄養計画を立てます。

必要な患者さんには病室を訪問し、嗜好調査・食事療法の説明なども行います。難渋する症例はNST(栄養サポートチーム)に管理を任せながら、積極的な「食」のアプローチにつなげています。

今後もスタッフ一同、患者さんの食生活をサポート・支援していきたいと考えています。

小山市制60周年記念

健康をつくる講演会“詰まらず切れない強い血管の作り方”

小山市主催による小山市制60周年記念『健康をつくる講演会』を下記の日程で行います。

また、大ホールラウンジでは、協賛企業による体組成測定会(先着300名)や血管年齢測定会(先着100名)、減塩弁当の試食会(先着200名)も同時開催されます。どちらも入場無料ですので、みなさまのご来場、心からお待ちしております。

1. 日時 平成27年1月11日(日) 午後1時30分～午後4時(測定会:12時～)
2. 会場 小山市立文化センター 大ホール
3. 講演1 「島田流 血管年齢の若返りかた ～血管病で突然死にならないために～」
新小山市市民病院 理事長・病院長 島田和幸
- 講演2 「減塩で血圧を下げよう! ～塩分の過剰が高血圧をまねく訳～」
新小山市市民病院 健診センター所長 中野真宏
- 講演3 「タニタの社員食堂健康セミナー」
株式会社タニタヘルスリンク 管理栄養士 堀田幸代 先生

お問い合わせは、新小山市市民病院 総務課(☎21-3868)

または、小山市役所 健康増進課 緑の健康づくりの森推進室(☎22-9357)までお電話下さい。

年末年始のご案内

12/27(土)～1/4(日)の9日間は、通常の診察をお休みさせていただきます。

なお、緊急時におきましては、救急外来をご利用下さい。

救急外来・夜間受付 ☎21-3818

※診察券(お持ちの方)・保険証・医療受給証など(お持ちの方)・紹介状(他の医院、病院からの方)をお持ちになって、ご来院ください。